

大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

2月号



学習発表会を終えて

2月1日(日)には、保護者、来賓の皆様をお迎えして学習発表会を開催することができました。ステージに立つ子どもたちの姿、ご覧いただけましたでしょうか。一人ひとりの自分の役割を一生懸命に果たそうとする表情、そして仲間と声をかけ合う姿には、これまで重ねてきた練習の積み重ねを感じました。

発表を終えたあとの子どもたちの満足げな顔を見て、改めて「表現すること」の意義を強く感じました。自分たちの学びを形にし、誰かに届ける。そのプロセスこそが、子どもたちを大きく成長させてくれます。

こうした実践ができるのも、ご家庭での「温かいサポート」があってこそです。今年度も残り少なくなってきましたが、本校教育活動にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



校内なわとび大会

学習発表会以外にも、校内なわとび大会など、今月は子どもたちが丸になって光る場面が多く見られました。2月10日に行われた校内なわとび大会。8の字跳びでリズムよく跳ぶ子どもたちを見つめながら、縄が描く「∞(無限)」の形に、子どもたちの可能性を感じていました。

- 「無限のパワー」 学年を超えた協力の輪
 - 「無限の可能性」 練習の成果と成長の跡
 - 「無限の優しさ」 仲間を認め応援する心
- みんなでつないだこの「無限」の力を、次のステップへの自信に変えてほしいと思います。



「とくしまPBSアワード」ゴールド賞を受賞！

今月、本校にとって、大変誇らしいニュースが届きました。本校が今年度取り組んできたPBS(ポジティブ行動支援)が認められ、徳島県教育委員会より「ゴールド賞」をいただきました。

児童玄関にある「きく木」に、たくさんの花が咲いているのをご存じでしょうか。「相手の話をしっかり聴く」という大切な姿勢を、子どもたちが積み重ねてきた成果だと思います。審査員の方からも「大俣小学校の取組は、全国でも類を見ない実践です。子どもたちの『聴く力』も高まっている」という高い評価をいただきました。この受賞を自信に変え、児童全員が『聴くスーパー達人』になれるよう実践を積み重ねていきたいと思ひます。

